

▼パドセブ点滴静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 エンホルツマブ ベドチン (遺伝子組換え) Enfortumab Vedotin (Genetical Recombination) ASG-22CE 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [抗 Nectin-4 抗体微小管阻害薬複合体]

【単位】 ▼20mg・▼30mg/V

【常用量】 1回 1.25mg/kg (最大 125mg) 週 1 回を 3 週連続、4 週目休薬を 1 サイクルとして繰り返す

【用法】 30 分以上かけて点滴静注

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 接着タンパク質 Nectin-4 を標的とする抗体薬物複合体 (ADC)。リンカーを介してチューブリン重合を阻害する低分子の微小管阻害薬モノメチルアウリスタチン E (MMAE) を結合させている。抗体が細胞膜上に発現する Nectin-4 に結合し、細胞内に取り込まれた後にプロテアーゼによりリンカーが切断され、MMAE が細胞内に遊離する。

【主な副作用・毒性】 重度の皮膚障害、高血糖、末梢性ニューロパチー、骨髄抑制、感染症、腎機能障害、間質性肺疾患など

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】 MMAE は主に CYP3A4 で代謝 (1)

【排泄】 MMAE の尿中回収率 9.4~15.1% [ラット] (1)

【CL】 未変化体 0.110L/hr, MMAE 2.11L/hr (1) MMAE は P-gp の基質 (1)

【t1/2】 反復投与時 3 日 (1) MMAE は反復投与で 4 日 (1)

【蛋白結合率】 MMAE 67.9~82.2% (1)

【Vd】 Vss 未変化体 12.8L/body, MMAE 183.5L/body (1)

【MW】 約 152,000

【透析性】 資料なし (1) 透析性は低いと思われる (5)

【O/W 係数】

【主な臨床報告】

【更新日】 20240918

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。